

# 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

考査項目	細 別	a	b	c	d	e	
1. 施工体制	I. 施工体制一般		<input type="checkbox"/> 施工体制が適切である	<input type="checkbox"/> 他の事項に該当しない	<input type="checkbox"/> 施工体制がやや不備である	<input type="checkbox"/> 施工体制が不備である	
		<p>「評価対象項目」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 作業分担の範囲が確認でき現場とも一致している。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事カルテの登録は、監督職員の確認を受けた上で契約後10日以内に行われている。</li> <li><input type="checkbox"/> 品質証明の資料が確認でき、品質証明の時期・確認項目が、工事全般にわたり、よく把握されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度の主旨を作業員等に説明するとともに、証紙の購入が適切に行われ、配布が受け払い簿等により適切に把握されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 請負代金内訳書が契約後14日以内に提出されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工体制台帳、施工体系図が整備され施工体系図も現場に掲げられ、現場と一致している。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事規模に応じた人員、機械配置の施工となっている。</li> <li><input type="checkbox"/> 緊急指示等に対する対応が速やかである。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工体制一般について、指摘事項がなかった。または、指摘事項に対する改善が速やかに（次回）実施された。</li> <li><input type="checkbox"/> その他</li> </ul>				<p>80%以上・・・b 60%以上80%未満・・・c 60%未満・・・d</p>	<p><input type="checkbox"/> 施工体制が不備であり、監督職員から文書により改善指示を行った。</p>
	II. 配置技術者 (現場代理人等)	<input type="checkbox"/> 技術者が適切に配置されている	<input type="checkbox"/> 技術者がほぼ適切に配置されている	<input type="checkbox"/> 他の事項に該当しない	<input type="checkbox"/> 技術者の配置がやや不備である	<input type="checkbox"/> 技術者の配置が不備である	
		<p>「評価対象項目」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 現場代理人として、工事全体の把握ができており、また、発注者とのコミュニケーションが適切にとられている。</li> <li><input type="checkbox"/> 現場代理人として、監督職員との連絡調整を書面で行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事内容を理解したうえで、現場での臨機の対応ができています。また、良好な施工に努め、必要な工事書類が整理されている。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工に先だち、創意工夫または提案をもって工事を進めている。</li> <li><input type="checkbox"/> 契約書、設計図書、指針等を良く理解し、現場に反映して工事を行っている。</li> <li><input type="checkbox"/> 設計図書の照査が十分で現場との相違があった場合は適切に対応している。</li> <li><input type="checkbox"/> 作業環境、気象、地質条件等の困難克服に努めている。</li> <li><input type="checkbox"/> 下請の施工体制、施工状況を把握し、部下等共によく指導している。</li> <li><input type="checkbox"/> 法令上必要な技術者等（主任技術者、作業主任者、専門技術者）を必要に応じ配置している。</li> <li><input type="checkbox"/> 作業主任者を選任し配置している。</li> <li><input type="checkbox"/> 専門技術者を専任し、配置している。</li> <li><input type="checkbox"/> 配置技術者について、指摘事項がなかった。または、指摘事項に対する改善が速やかに（次回）実施された。</li> <li><input type="checkbox"/> その他</li> </ul>				<p>90%以上・・・a 80%以上90%未満・・・b 60%以上80%未満・・・c 60%未満・・・d</p>	<p><input type="checkbox"/> 現場代理人等の技術者配置が不備で、監督職員から文書により改善指示を行った。 <input type="checkbox"/> 指摘事項に対しての意図的な不履行。</p>

「評価対象項目」のうち、評価対象となる項目はまず、左の□にチェックします。そのうち該当する項目には右の□にチェックします。

評価対象項目が2項目以下の場合、100%であっても、評価は「C」となります。

該当した場合・・・e

◎評価値について  
評価対象項目数を定め、それを母数として評価項目の比率(%)計算の値で評価する。  
例)「I. 施工体制一般」の場合  
その他以外の9項目を対象とし、うち8項目を評価。

1つ該当・・・d  
2つ該当・・・e

下の場合は、100%であっても、評価は「C」となります。

# 工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	I. 施工管理	<input type="checkbox"/> 施工管理が適切である		<input type="checkbox"/> 他の事項に該当しない	<input type="checkbox"/> 施工管理がやや不備である	<input type="checkbox"/> 施工管理が不備である
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 施工に先立ち現場条件を反映した施工計画が提案され、現場においても概ね一致している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書と現場施工方法が一致している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書と現場の施工体制等が一致している。 <input type="checkbox"/> 施工計画書の内容が設計図書の内容及び現場条件を反映したもとなっている。 <input type="checkbox"/> 工事材料の使用及び調達計画が十分なされ、管理されている。 <input type="checkbox"/> 品質確保のための対策が見られる。 <input type="checkbox"/> 日常の出来形管理が適時、的確に行われている。 <input type="checkbox"/> 日常の品質管理が適時、的確に行われている。 <input type="checkbox"/> 現場内での整理整頓が日常的になされている。 <input type="checkbox"/> 使用材料等の品質保証書等または工事記録写真等が適切に整理されている。 <input type="checkbox"/> 現場でのイメージアップに積極的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 立会確認の手続きが事前になされている。 <input type="checkbox"/> 工事記録の整備が適時、的確になされている。 <input type="checkbox"/> 建設廃棄物及びリサイクルへの取り組みが適切にされている。 <input type="checkbox"/> 工事全体で使用機械、車両等で低騒音、排出ガス対策機械を使用している。 <input type="checkbox"/> 段階確認、立会の申請が適切な時期に行われている。 <input type="checkbox"/> 施工管理について、指摘事項がなかった。または、指摘事項に対する改善が速やかに（次回）実施された。 <input type="checkbox"/> その他		80%以上・・・b 60%以上80%未満・・・c 60%未満・・・d	<input type="checkbox"/> 設計図書と適合しない箇所があり、文書により改造請求を行った。 <input type="checkbox"/> 施工計画書が工事着手前に提出されていない。 <input type="checkbox"/> 定められた工事材料の検査義務を怠り、破壊検査を行った。 <input type="checkbox"/> 契約図書に基づく施工上の義務につき、監督職員から文書により改善指示を行った。	1つ該当・・・d 2つ以上該当・・・e
	II. 工程管理	<input type="checkbox"/> 工程管理が適切である		<input type="checkbox"/> 工程管理がほぼ適切である	<input type="checkbox"/> 工程管理がやや不備である	<input type="checkbox"/> 工程管理が不備である
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> フォローアップ等を実施し、工程の管理を行っている。 <input type="checkbox"/> 時間制限・片側交互通行等の各種制約があるにもかかわらず工程の短縮を行った。 <input type="checkbox"/> 現場条件の変更への対応が積極的に処理が早く、また地元調整を積極的に行い円滑な工事進捗を行った。 <input type="checkbox"/> 休日の確保を行っている。 <input type="checkbox"/> 工程表の内容が検討され充実している。 <input type="checkbox"/> 夜間や休日等の作業が少なく、余裕をもって工期前に完成した。 <input type="checkbox"/> 現場事務所での工程管理を工程表やパソコン等を用いて、日常的に把握されている。 <input type="checkbox"/> 工程管理について、指摘事項がなかった。または、指摘事項に対する改善が速やかに（次回）実施された。 <input type="checkbox"/> その他		90%以上・・・a 80%以上90%未満・・・b 60%以上80%未満・・・c 60%未満・・・d	<input type="checkbox"/> 自主的な工程管理がなされず、監督職員から文書により改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 精査者の責により工期内に完成できなかった。 （但し、改善指示による場合を除く） 該当した場合・・・e
III. 安全対策		<input type="checkbox"/> 安全対策を適切に行った		<input type="checkbox"/> 安全対策をほぼ適切に行った	<input type="checkbox"/> 安全対策がやや不備であった	<input type="checkbox"/> 安全対策が不備であった
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 災害防止（工事安全）協議会等を設置し、1回/月以上活動し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 店社パトロールを1回/月以上実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 安全パトロール、安全教育等を実施し労働災害事故防止に努めている。 <input type="checkbox"/> 安全教育・訓練等を4時間/月以上適時、的確に実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が十分反映され、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 安全管理の臨機の措置を行った。 <input type="checkbox"/> 過積載防止に積極的に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 使用機械、車両等の点検整備等がなされ、管理されている。 <input type="checkbox"/> 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。 <input type="checkbox"/> 山留め、仮締切等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 <input type="checkbox"/> 足場や支保工について、組立完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 <input type="checkbox"/> 工事現場における保安施設等の整備・設置・管理が的確であり、よく整備されている。 <input type="checkbox"/> 安全対策について、指摘事項がなかった。または、指摘事項に対する改善が速やかに（次回）実施された。 <input type="checkbox"/> その他		90%以上・・・a 80%以上90%未満・・・b 60%以上80%未満・・・c 60%未満・・・d	<input type="checkbox"/> 安全管理に関する現場管理または防災体制が不適切であった。	<input type="checkbox"/> 安全対策の不備により重大な災害を受けた。
IV. 対外関係		<input type="checkbox"/> 対外関係が適切であった		<input type="checkbox"/> 対外関係がほぼ適切であった	<input type="checkbox"/> 対外関係がやや不備であった	<input type="checkbox"/> 対外関係が不備であった
		「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、関係官公庁等の関係機関と調整し、トラブルの発生がない。 <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、地元との適切な調整を行った。 <input type="checkbox"/> 苦情に対して的確に対応し、良好な対外関係であった。 <input type="checkbox"/> 積極的な地元対策を実施し、第三者からの苦情なかった。または苦情によるトラブルが少なかった。 <input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、関連工事を含む工事全体の円滑な進捗に寄与している。 <input type="checkbox"/> 対外関係について、指摘事項がなかった。または、指摘事項に対する改善が速やかに（次回）実施された。 <input type="checkbox"/> その他		90%以上・・・a 80%以上90%未満・・・b 60%以上80%未満・・・c 60%未満・・・d	<input type="checkbox"/> 精査者の対応による苦情が多い。または対応が悪くトラブルがあった。 <input type="checkbox"/> 関係法令に違反する恐れがあったため、監督職員から文書により指示を行った。	1つでも該当した場合・・・d 該当した場合・・・e

## 工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

考 査 項 目	細 別	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	<input type="checkbox"/> 出来形管理が適切である。	<input type="checkbox"/> 出来形管理がほぼ適切である。	<input type="checkbox"/> 他の項目に該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形管理がやや不備である。	<input type="checkbox"/> 出来形管理が不備である。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     「評価対象項目」のうち、評価対象となる項目はまず、左の口にチェックします。そのうち該当する項目には右の口にチェックします。                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     評価対象項目  <input type="checkbox"/> 出来形管理図または出来形管理表が適切にまとめられており、確認できる。  <input type="checkbox"/> 出来形測定において、不可視部分の出来形が写真で的確に確認できる。  <input type="checkbox"/> 自社の管理基準を設定し、適切に管理している。  <input type="checkbox"/> 自社の写真管理基準等を設定し、創意工夫を持って適切に管理している。  <input type="checkbox"/> 出来形の形状、寸法が設計値（設計図書）を満足し、バラツキが少ない。  <input type="checkbox"/> 出来形の性能、機能が設計値（設計図書）を満足し、バラツキが少ない。  <input type="checkbox"/> その他                      理由：                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">                     90%以上・・・a                      80%以上90%未満・・・b                      60%以上80%未満・・・c                      60%未満・・・d                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。該当すれば・・・d                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     該当した場合・・・d                 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <input type="checkbox"/> 契約書第〇条〇項に基づき破壊検査を行った。該当すれば・・・e                 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     該当した場合・・・e                 </div>	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     評価対象項目が2項目以下の場合、100%であっても、評価は「C」となります。                 </div>				

## 工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

考 査 項 目	細 別	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ. 品質	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。（特に優れていればa） <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。（特に優れていればa）	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。	品質関係の試験結果が試験基準を満足し、a及びbに該当しない。または、品質管理項目がない工事。 <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が試験基準を満足し、a及びbに該当しない。または、品質管理項目がない工事。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越るものがあり、ばらつきが大きい。 <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越るものがあり、ばらつきが大きい。	品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。 <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。
		●必ずチェックする。		○ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。（特に優れていればa） ○ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足しばらつきが少ない。 ○ 品質関係の試験結果が試験基準を満足し、a及びbに該当しない。または、 <u>品質管理項目がない工事。</u> ○ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を越るものがあり、ばらつきが大きい。 ○ 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を満足せず品質が劣る。  ※品質管理資料による評定が困難な場合は、現地立会・試験結果等を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。	<input type="checkbox"/> 監督職員が文書で改善指示を行った。該当すれば…d  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">該当した場合…d</div>	<input type="checkbox"/> 契約書第〇条〇項に基づき破壊検査を行った。該当すれば…e  <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">該当した場合…e</div>

チェック項目、上から  
a→b→c→d→e  
となります。

審査項目	細別	技術力キーワード一覧表	【事例】具体的な評価技術力項目及び工事事例
4. 高度技術	I. 高度技術 キーワード評価 ●土木、 建築工事共通	<p>●施工規模の大きさへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 1. 対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模</li> <li><input type="checkbox"/> 2. その他 (該当があればチェックして理由を記入。)</li> </ul> <p>理由:</p> <p>●構造物固有の難しさへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 3. 対象構造物の形状の複雑さ(土被り厚やトンネル線形等を含む)</li> <li><input type="checkbox"/> 4. 既設構造物の補強、撤去等特殊な工事</li> <li><input type="checkbox"/> 5. その他</li> </ul> <p>理由:</p> <p>●技術固有の難しさへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 6. 工種及び工法の特異性</li> <li><input type="checkbox"/> 7. 新工法(機器類を含む)及び新材料の適用</li> <li><input type="checkbox"/> 8. NETISの評価試行方式を適用</li> <li><input type="checkbox"/> 9. その他</li> </ul> <p>理由:</p> <p>●厳しい自然・地盤条件への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 10. 湧水の発生、地下水の影響(地盤掘削時)</li> <li><input type="checkbox"/> 11. 軟弱地盤、支持地盤の状況</li> <li><input type="checkbox"/> 12. 河川内・海域・急峻な地盤条件下等及び工事用道路・作業スペース等の制約</li> <li><input type="checkbox"/> 13. 雨・雪・風・気温・波浪等の影響</li> <li><input type="checkbox"/> 14. 地すべり等の地質条件、急流河川での水流、海域での潮流等の影響、動植物等に対する配慮等</li> <li><input type="checkbox"/> 15. その他</li> </ul> <p>理由:</p> <p>●厳しい周辺環境等、社会条件への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 16. 地中埋設物等の地中内の作業障害物</li> <li><input type="checkbox"/> 17. 工事の影響に配慮すべき鉄道営業線・供用中の道路・架空線・建築物等の近接物</li> <li><input type="checkbox"/> 18. 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮</li> <li><input type="checkbox"/> 19. 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮</li> <li><input type="checkbox"/> 20. 生活道路を利用する資機材搬入等の工事用道路の制約、路面覆工下・高架下等の作業スペース制約</li> <li><input type="checkbox"/> 21. 現道上で、特に交通規制及びその処理に伴う作業</li> <li><input type="checkbox"/> 22. 騒音・振動・水質汚濁以外の環境対策、廃棄物処理等</li> <li><input type="checkbox"/> 23. その他</li> </ul> <p>理由:</p> <p>●施工現場での対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 24. 災害等での臨機の処置 (該当があればチェック。)</li> <li><input type="checkbox"/> 25. 施工状況(条件)の変化に対応した施工・工法等の自発的提案と対応等</li> <li><input type="checkbox"/> 26. その他</li> </ul> <p>理由:</p> <p>●その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 27. その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する必要がある事項</li> </ul> <p>理由:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 28. その他(加点が1点の場合)</li> </ul> <p>理由:</p>	<p>【施工規模が大規模】下記の該当する項目が、高度技術で評価できる場合 (該当項目をチェック)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> ダム用水門</li> <li><input type="checkbox"/> 堰、水門</li> <li><input type="checkbox"/> トンネル</li> <li><input type="checkbox"/> 堤防、護岸、突堤、離岸堤</li> <li><input type="checkbox"/> ダム高</li> <li><input type="checkbox"/> 橋梁上部工</li> <li><input type="checkbox"/> 樋門・樋管</li> <li><input type="checkbox"/> 流路工</li> <li><input type="checkbox"/> 揚排水機場</li> <li><input type="checkbox"/> 地滑り防止工</li> <li><input type="checkbox"/> 橋梁下部工</li> <li><input type="checkbox"/> 推進工事</li> </ul> <p>【事例：構造物固有の施工難度と対応工法等】 (該当項目をチェック)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 地山強度が低い。また土被りが薄いため、FEM解析等の施工のための検討が必要な工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 砂防工事等で現地調査に基づき、現地合わせの再設計と施工が必要な工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄道営業線に隣接した橋脚の耐震補強工事や河道内の流水部における橋脚撤去工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 供用中の施設の改修工事等。</li> <li><input type="checkbox"/> 建築工事で官庁施設の総合耐震計画基準においてI類及びA類に属する工事</li> <li><input type="checkbox"/> 電気設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事</li> <li><input type="checkbox"/> 機械設備工事で官庁施設の総合耐震計画基準において甲類に属する工事</li> <li><input type="checkbox"/> 建築工事で耐震及び免震構造の工事</li> <li><input type="checkbox"/> 建築及び設備工事で敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切り直しを行った工事</li> <li><input type="checkbox"/> 建築及び設備工事で仮設備等を設け、配管・配線等の盛替え等を必要とする改修工事</li> <li><input type="checkbox"/> 建築及び設備工事で休日・夜間作業が工程の60%以上を占める改修工事</li> <li><input type="checkbox"/> 施工場所や構造物の特異性に対処するための新技術、新工法を採用した工事。</li> <li><input type="checkbox"/> パイロット工事。又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的に検討が必要な工事。</li> <li><input type="checkbox"/> その他、コンピュータシミュレーション等が必要な設計や特殊な工法及び材料等を用いた工事。等</li> <li><input type="checkbox"/> VE提案された工法等が高度技術として評価できる場合。</li> <li><input type="checkbox"/> NETISの評価試行方式を適用した工事。</li> <li><input type="checkbox"/> その他、構造物固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。(左欄のその他に理由を記入。)</li> <li><input type="checkbox"/> その他、技術固有の難しさへの対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。(左欄のその他に理由を記入。)</li> </ul> <p>【事例：自然及び地盤条件への対応工事等】 (該当項目をチェック)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 河川内の橋脚工事等で、地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備の他、大規模な山留め工法が必要な工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎の1本毎に地質調査を実施する他、支持地盤を確認しながら再設計した工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 軟弱地盤上の緩速盛土のため、施工不可能日(待ち時間)が多く、施工機械の稼働率と施工台数等を的確に把握した工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。または命綱を使用する必要があった工事。(法面工は除く)</li> <li><input type="checkbox"/> 斜面上若しくは急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策施工後に、施工した工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 海岸及び河川内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 波浪や水位変動が大きいため、作業構台等を設置した工事。また、作業構台等の設置や作業工程から潜水夫を多用した工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 国立公園内での工事。またはイヌワシ等の貴重種の保護のため、施工時期が限定されたり、施工方法等が制限された工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 建築工事で地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備の他、大規模な山留め工法が必要な工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 建築工事で冬期施工のため、大規模な雪寒冬囲いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 建築工事で施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事。</li> <li><input type="checkbox"/> その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。(左欄のその他に理由を記入。)</li> </ul> <p>【事例：周辺環境や社会条件等の施工現場での対応が必要になった工事等】 (該当項目をチェック)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 横断渠工事や電線地中化工事等の現道開削工事で、ガスマン・水道管・電話線等の移設が施工工程に大きく影響した工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 鉄道営業線及び供用中道路を跨ぐ跨線橋又は跨道橋工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 市街地等の家屋密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 市街地での夜間工事。</li> <li><input type="checkbox"/> DID地区での工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 供用中の道路(概ね日交通量〇台以上)で片側交互通行の交通規制をした工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 供用中の道路での舗装及び修繕工事等。</li> <li><input type="checkbox"/> 供用している専導等の路上工事で交通規制が必要な工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 支障物件の移設が工程上クリティカルパスになり、工程の遅れを生じ、回復に機械、人員等の増強を行った工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事期間中の大半にわたって、規制標識類の設置・撤去を日々行い、交通開放を行った工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 地元調整や環境対策の制約が特に多い工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事の実施にあたり、各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 工事に先立ち又は施工中で、監視・観測等の結果に基づき、工法変更を行った工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 環境対策が工程に大きな影響を与えた工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 大気圧を越える気圧下の作業室での工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事。地上・水面から〇m以上(〇m以下)での工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 工程上、他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 建築工事で大規模なテレビ電波障害対策を行った工事</li> <li><input type="checkbox"/> その他、周辺環境又は社会条件への対応が必要であり、特に評価すべき技術があると評価された工事。</li> <li><input type="checkbox"/> 建築工事で特に困難な調整を要する他工事(近接工事)の請負者が複数ある工事(左欄のその他に理由を記入。)</li> <li><input type="checkbox"/> 建築工事で外來者の多い施設で、作業範囲内に外來者・通行人等の動線がある工事(左欄のその他に理由を記入。)</li> <li><input type="checkbox"/> その他、施工現場での対応で、特に評価すべき技術があると評価された工事。(左欄のその他に理由を記入。)</li> </ul> <p>【その他】 (該当項目をチェック)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> その他、施工及び工法等の優れた技術力及び能力として、評価する技術。(左欄のその他に理由を記入。)</li> <li><input type="checkbox"/> その他(加点が1点の場合)</li> </ul>
	記述評価 【 <input type="checkbox"/> マークを付したキーワード項目について、評価内容を詳細記述】	<p>評点：<b>点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高度な技術力は、加点評価とする</li> <li>・ 加点は+13点~0点の範囲とする。</li> <li>・ 該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。</li> <li>・ 1項目2点を目安とするが、内容によってはそれ以上または以下の点数を与えてもよい。</li> </ul>	【高度技術のキーワードの詳細】

※1. 高度な技術力とは、工事全体を通して他の類似工事に比べて、特異な技術力を要する必要がある技術の評価するものである。なお、評価は「5. 創意工夫」との二重評価はしない。  
 ※2. 詳細評価の記述にあたっては、担当部局課内での責任者による合議とし、各審査項目はキーワードで大分類し、評価する詳細な高度な技術力を記述する。  
 ※3. 高度技術は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本場に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では「5. 創意工夫」で評価しなかったものを対象とする。

●下記の該当項目をチェック

審査項目	細別	1. 創意工夫キーワード一覧表（創意工夫が多く見られるリスト）	施工性	品質	安全性	作業環境	その他（項目記載）
5. 創意工夫 【軽微なもの】	I. 創意工夫 キーワード評価  ●土木、 建築工事共通	●準備・後片づけ関係 □ 1. 測量・位置出しにおける工夫 □ 2. 現地調査方法の工夫 □ 3. その他 理由：	<input type="checkbox"/>				
		●施工関係 □ 4. 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫又は、設備据付後の試運転調整の工夫 □ 5. コンクリート二次製品の利用等の代替材の適用と工夫及び工事加工製品を活用し副産物及び廃棄物の減少に工夫。又は、リサイクルに対する積極的な取り組み。 □ 6. 土工、地盤改良、橋梁架設、舗装、コンクリート打設等の施工関係の工夫 □ 7. 部材・機材等の運搬・吊り方式等を含む施工方法等の工夫 □ 8. 設備工事で、加工、組立等の工夫又は、電気工事の配線、配管等での工夫 □ 9. 給排水・衛生設備工事等の配管・ポンプ類の凍結防止策、つなぎ等の工夫 □ 10. 照明・視界確保等の工夫 □ 11. 仮排水、仮道路、迂回路等の計画施工の工夫 □ 12. 運搬車両・施工機械等の工夫 □ 13. 支保工、型枠工、足場工及び仮橋、覆工版、山留め等の仮設工関係の工夫 □ 14. 施工管理及び品質向上等の工夫 □ 15. 建築工事でプレバブ工法等を採用し、工期短縮等の工夫 □ 16. 建築工事で改修工事における仮設備の工夫 □ 17. その他 理由：	<input type="checkbox"/>				
		●品質関係 □ 18. 集計ソフト等の活用と工夫 □ 19. 土工関係、設備関係、電気関係の工夫 □ 20. コンクリートの打設関係の工夫（材料、打設、養生、出来形・品質等） □ 21. 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料の工夫 □ 22. 配筋・溶接作業等に関する工夫 □ 23. 建築関係で躯体工事の品質管理の工夫 □ 24. 建築関係で材料の検査試験に関する工夫 □ 25. 建築関係で施工の検査試験に関する工夫 □ 26. 建築関係で品質試験方法の工夫 □ 27. その他 理由：	<input type="checkbox"/>				
		●安全衛生関係 □ 28. 安全仮設備等の工夫（落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等） □ 29. 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール、安全帯使用等に関する工夫 □ 30. 現場事務所、労働者宿舎等の居住空間及び設備等の工夫 □ 31. 酸欠対策・有毒ガス・可燃ガスの処理。及び粉塵防止策や作業中の換気等々の工夫 □ 32. 供用中の道路等の事故防止、一般車両突入時の被害軽減対策及び一般交通確保等のための工夫 □ 33. 作業環境が厳しい現場での環境改善等の工夫 □ 34. 建築工事で苦渋作業等の作業環境低減等の工夫 □ 35. ゴミの減量化、アイドリングストップの励行等の地球環境への工夫 □ 36. その他 理由： □ 37. 建災防等による建設従事者に対する安全衛生教育（該当があればチェック。）	<input type="checkbox"/>				
		●施工管理関係 □ 38. 盛土の締固、場所打ち杭や既成杭の施工高さ等の施工に関する工夫 □ 39. 建築工事で出来形管理等に関する工夫 □ 40. 施工計画書及び写真管理等の工夫（デジタル写真ソフトの活用等） □ 41. 出来形、品質との計測関係等の工夫。及び集計、管理図等の工夫 □ 42. CAD、施工管理ソフト、土量管理システム等の活用 □ 43. その他 理由：	<input type="checkbox"/>				
	●その他 □ 44. その他 理由： □ 45. その他 理由： □ 46. その他 理由：	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	記述評価 【■マークを付した キーワード項目につ いて、評価内容を詳 細記述】	評点： ・ 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。 ・ 加点は+7点～0点の範囲とする。 ・ 該当キーワード数の数と重みを勘案して評点する。 ・ 1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。	【創意工夫の詳細評価】				

※1. 創意工夫においては「4. 高度技術」の審査項目において評価するほどではないが、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があれば加点・抽出記載する。  
 ※2. 「2. 施工状況」「3. 出来形及び出来ばえ」においても創意工夫は加点対象とするが、企業努力を引き立たせるため本審査項目でも再評価する。  
 ※3. 創意工夫は「実用新案・特許クラス」から「現場に適用した本当に些細な工夫ではあるが非常に役立つ軽微な工夫」まで様々なレベルがあるが、本項目では軽微なものを評価する。  
 ※4. キーワードの評価（選定）及び詳細評価は、担当部局課内での責任者による合議を原則として記述する。  
 ※5. 「4. 高度技術」との二重評価はしない。